



☆一人も置いていかないことの大切さ☆

3月9日(金)の集会を覚えていますか?震災の話と共に、1年生をどう締めくくることが大切だという話をしました。あれから、最後にふさわしい行動を取れていますか?

実は、先生たちは心配をしています。あの時、クラスで打ち上げなどのことはしないようにしようという話をしました。にもかかわらず、クラスでどこかへいこう、ご飯を食べよう、遊びに行こうという話があると聞いています。とても残念です。

クラスで打ち上げをすることが、仲良しのしるしではありません。やりたいと思えるくらい、仲良くなれたことは嬉しいです。ですが、本当にその行動が仲良くなったことを確認し合うためのただ一つの行動なのでしょうか?

集会で言われたことの意味をもう一度考えましょう。あなたたちは、まだまだお家の方の保護があって毎日過ごしています。自分で稼いだお金ではないという意識を持っていますか?また、お金のことはもちろんのことですが、なかにはお家の方針やさまざまな用事があって、当日参加できない人もいます。その子は、参加できなかった当日はもちろん、当日を迎えるまでの時間、そして終わってからの時間、みんなの話に入れるかどうか不安を抱えながら過ごすでしょう。そういう人のことも考えた行動を取れることが、本当に仲間を大切にするということではないかと思えます。

「やめよう」というのは勇気のいることです。ですが、その一言で崩れてしまうような仲間ではないはずですね。もう一度、考えてみてください。

☆春休みに向けて☆

さて、三者懇談も終わり、心は春休みに向いていることでしょうか。1年を振り返って、どうでしたか?頑張った成果が成績に出ているでしょうか?

勉強の難しいところは、自分が頑張ったと思う分だけ結果が出るとは限らないということです。だからこそ、「もう自分はできない」「分からないからやってもしょうがない」「実感がわからないからやらない」という気持ちになり、あきらめてしまうことがあります。

ですが、ここが踏ん張り所です。思うように結果が出るなんて、どんなことでもなかなかありません。その苦しい時期を我慢して努力を続けるからこそ、自分の努力が報われる時がやってくるのです。その時まで、努力を続けられるかどうかが大切なのです。自分との闘いですね。

中学校では、3年生で受験が待っています。3年生では、3年生の内容を勉強しながら1・2年で勉強したことを復習していかなくてはなりません。そのとき、1・2年生で理解できていないままの状態にしておく、その勉強のやり直しも一緒にしていかなくてはいけませんね。だから、今、出来ていなかったところを復習しておくことが大切です。

この春休みに、今の自分が出来ることは何なのか一度考えてみましょう。その頑張りが、2年後のあなたをきっと支えてくれるでしょう。

